

嵐山国有林の取扱に関する意見交換会

第1回会合

議事次第

日時：平成21年6月12日（金）
10:00～12:00
場所：天龍寺 友雲庵

議題：

1．開会あいさつ

近畿中国森林管理局計画部長 佐古田 睦美

2．出席者紹介

3．事務局からの説明：「嵐山国有林の取扱について」

京都大阪森林管理事務所長 福田 淳

4．意見交換

5．その他

嵐山国有林の取扱に関する意見交換会

1. 趣旨

嵐山国有林は、京都市西部を流れる大堰川右岸に位置しており、名勝「渡月橋」から上流側左手に見える森林はほぼ全域が国有林となっている。

嵐山国有林では、かつてはアカマツとヤマザクラが主要樹種であったと言われているが、松枯れ被害の拡大によりアカマツが減少するとともに、広葉樹の成長によりヤマザクラが被圧されつつあることから、往事の姿から大きく変化しつつある。このため、当所では、往事の嵐山の復活を目指して、「小面積で択伐を行った上で、サクラやマツを植栽する」という方針の下、昭和57年以降、嵐山保勝会との連携により植樹を行ってきた。

しかしながら、取組開始から27年を経て、これまで植栽した樹木の成長が必ずしも良好ではないこと、シカやサルによる被害が頻発していること、嵐山における観光形態が変化しつつあること、林内における落石対策を積極的に講じてきたことなどから、改めて、嵐山国有林の取扱方針について、幅広い観点から検討を行う必要が生じている。

このため、地元関係者及び専門家の参加による「嵐山国有林の取扱に関する意見交換会」を開催して、今後の嵐山国有林の取扱について検討を行うこととする。

2. 内容

第1回会合では、事務局より、これまでの取組及び課題について説明を行う。第2回及び第3回会合では、専門家の委員より、植生、景観、獣害、治山の4つの観点から報告・提言を行う。第4回及び第5回会合では、具体的な提言をとりまとめる。

3. スケジュール

21年 6月	第1回会合（立ち上げ、事務局からの説明、意見交換）
21年 8月	第2回会合（委員からの報告・提言：植生、景観）
21年10月	第3回会合（委員からの報告・提言：獣害、治山）
21年11月	第4回会合（提言とりまとめ骨子の提示）
22年 1月	第5回会合（提言とりまとめ）

（以上）

「嵐山国有林の取扱に関する意見交換会」委員名簿

(委員)

- 浅葉 慎介 嵐山モンキーパークいわたやま園長
- 磯橋 克康 嵐山保勝会副会長(株式会社嵐山辨慶代表取締役社長)
- 田中 克彦 嵐山保勝会専務理事
- 梅 承昭 「嵐峡の清流を守る会」会長(天龍寺宗務総長)
- 中西 一夫 嵐山保勝会常任理事(嵐山通船株式会社代表取締役)
- 早田 一郎 嵐山保勝会理事
- 高田 研一 NPO法人森林再生支援センター常務理事(植生)
- 高橋 裕史 (独)森林総合研究所関西支所主任研究員(獣害)
- 深町加津枝 京都大学大学院地球環境学堂准教授(景観)
- 三好 岩生 京都府立大学大学院生命環境科学研究科助教(治山)

(オブザーバー)

- 木戸 俊康 京都市林業振興課長
- 水嶋 幸弘 京都市風致保全課長
- 梶川 敏夫 京都市文化財保護課長
- 松下 正徳 京都府京都林務事務所長

(事務局)

京都大阪森林管理事務所

(順不同)